

8 つり（ライフジャケット着用の仕方は所員が指導）

胎内川で小さな魚をつり上げます。つり竿の貸し出しは、60本まで可能です。

- ・日本海の海水と胎内川の淡水がぶつかる河口流域は、ハゼやウグイ、小さなシマダイなどがつれます。
- ・ライフジャケットを着て活動します。
- ・バス等、交通手段を確保して実施してください。



時 期	5月下旬～ 10月上旬		所要時間	2時間～3時間	活動場所	カヌー体験を行うカヌー場横の船だまり ※「9 カヌー」の図を参照	
対 象	小学校4年生以上（大人同伴であれば1年生からでも可）				人 数	60人程度	
準備物	自然の家で貸し出すもの			団体・個人で準備するもの			
	☐ つり竿（60本） ☐ ライフジャケット			☐ つりえさ（青イソメ 等） ☐ 仕掛け＝はり、おもり、浮き、つり糸がセットになります。 ☐ バケツ、クーラーボックス 等 ☐ 長ズボン着用（足保護のため）			
活動の手順	事前指導	1 引率者は監視する場所を決める。 2 ライフジャケットの着方について説明を受ける。 3 仕掛けの取り付け方の説明を受ける。					
	活動の実際	1 活動の説明を聞く。 (1) つりの楽しみやねらい (2) 仕掛けの取り付け方の説明 (3) 竿の穂先にある金具（スナップ付タル6号）に仕掛けを取り付ける。 注意事項 ※事故を防ぐため、次のことについて十分守る。 ・指示があるまでライフジャケットを着ている。 ・決められた場所で活動する。 ・ つり竿は振りまわさない。 ・周りの人にぶつからないよう、針はそっと水に入れる。 2 活動開始 ※えさの取り扱いについてうまく出来ない場合、つり糸がからまり困った場合は、すみやかに引率者が点検し対応する。（使えなくなった場合は、スペアの仕掛けと交換する。） 3 終了後の説明を聞く。 (1) 仕掛けを穂先の金具から取り外す。 (2) 取り外した仕掛けを糸巻きに巻きつける。 (3) つり竿を返す。 4 参加人数の確認。					
	事後	つり竿を返すときに、穂先に不備がある場合は、所員に連絡をする。					
備 考	1 つりの仕掛け（スペアも含む）、つりのえさは事前に注文をしておけば、「つり具のナガイ」が自然の家またはカヌー場まで届けてくれます。 <u>ご連絡は団体より直接お願いいたします。</u> ・つりえさ取扱店「つり具のナガイ」 TEL0254-62-2530 2 利用料金（「つり具のナガイ」で購入する場合） (1) つり仕掛け一式＋えさ（長さ2m50cm） 1人用 600円（税込み） (2) つりのエサのみ 青イソメ1パック（4人分程度） 450円（税込み） ※つりの仕掛けは持ち帰ってください。 3 自然の家所員は、指導に付きませんので、団体で指導体制を組んでください。 なお、「つり具のナガイ」に（仕掛けの付け方・竿の扱い方・餌の付け方・釣針交換・魚 はずし等）指導依頼もできます。指導料：1団体3,000円（税込み） 4 安全上、長ズボンを着用して釣りを行ってください。						